

【学校教育目標】 進んで学習しよう 自他を大切にしよう 責任を果たそう	 西中だより	令和7年12月25日発行 青梅市立西中学校 学校だより第8号 校長 田中 晓
--	---	---

## 目標達成に向けて

校長 田中 晓

2025年も残すところあとわずかとなりました。保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

学校では、12月に入り、三者面談が行われました。師走のご多用な中、ご来校いただき、ありがとうございました。3年生においては、入試に向けて、面接練習を行いました。初めての面接練習で、緊張した様子が見られましたが、自己の進路の実現に向けて、全ての生徒が真剣に取り組んでいました。

さて、目標の達成に向けて元プロ野球選手のイチローさんは

「今自分にできること。頑張ればできそうなこと。そういうことを積み重ねていかないと、遠くの目標は近づいてこない。」と語っています。

これは、目標達成のためには、まず、今自分にできることに焦点を当て、着実に実行していく事の重要性を示しています。生徒たちは、将来の夢や目標の達成に向けて、具体的にイメージが浮かんでいない場合があります。

保護者の皆様には、ぜひお子様と一緒に長期的な目標を明確にし、目標達成のための必要なステップを洗い出し、今できることを具体的に決めていただければ幸いです。

西中学校においても、以下のキャリア教育の計画に基づき、総合的な学習の時間や特別活動の時間を通して、生徒の将来の夢や自己実現に向けた取組を行っています。

1年生 自分を知る 私の夢 地元青梅を知る 自分の興味・適正 職業理解

2年生 自己の適正と進路 青梅の産業を学ぶ 職業調べ 職場体験 上級学校調べ

3年生 進路の年間計画 持続可能な青梅を考える 進路の決定 新しい生活への準備

※詳細は、ぜひお子様からお聞きください。

目標の達成の過程では、生徒が困難に直面することがあります。その際、お子様の努力を認め、褒めたり、一緒に解決策を考え、サポートしたり、時には休息を促し、心身をリフレッシュさせてあげるなどしていただければと思います。

私たち教職員もお子様がそれぞれの目標に向かって着実に成長していくよう、全力でサポートしてまいります。引き続き、生徒の健全育成に向けて、保護者の皆様のご協力の程どうぞよろしくお願ひいたします。

まもなく冬休みとなります、ご家族皆様で健やかに新年を迎えていただくために、健康・安全についてご家庭でもご留意ください。

## 2学期終業式 生徒代表の言葉

四か月ほどと、長かった二学期も終わり、明日から冬休みに入ります。

二学期には、合唱コンクールや職場体験、修学旅行など、様々な行事が行われました。職場体験では、実際に仕事を体験し、働くことの大変さややりがいを学びました。また、合唱コンクールでは、各クラスが課題の克服と挑戦を繰り返し、多くの気づきを得たと思います。本番では、どのクラスの合唱にも圧倒されました。この二学期に得ることのできた学びや発見を三学期につなげていけるように、冬休み中に生活を振り返り、より一層成長できるようにしましょう。

三学期が始まると、一年生は、心待ちにしていたスキー教室が開催されます。スキーを思い切り楽しみ、充実した二日間にしてください。二年生は、最高学年としてふさわしい行動ができるように、メリハリのある生活を心がけましょう。三年生は、中学校生活も残りわずかとなり、多くの先輩方が高校進学へ向けて努力していく時期だと思います。忙しい日々になると思いますが、体調には気をつけて過ごしてください。一、二年生一同、先輩方を応援しています。

最後になりますが、冬休みには、学習や部活動などに取り組むだけでなく、家族や友達と過ごす時間や、息抜きの時間も大切にしながら、三学期を良いスタートで迎えられるような生活を送りましょう。

令和7年12月25日 生徒代表 二年A組 ○○○○

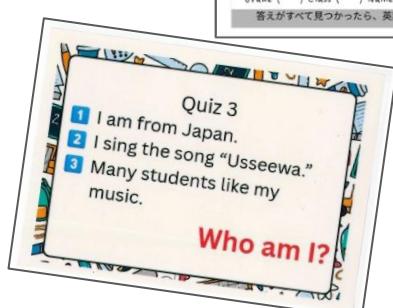
## 英会話週間の取り組みについて～英語科より～

教諭 ○○○○

本校では、11月6日（木）から12日（水）までの期間を「英会話週間」とし、授業外でも英語に親しむことができる活動に取り組みました。今年度は新たな試みとして“English Quiz Rally”を実施しました。英語科が作成した9つの3ヒントクイズを校舎内に掲示し、生徒はシートに描かれた絵を手がかりに場所を探しながらクイズに挑戦しました。見事9問すべてに正解した16名の生徒には賞状を贈呈しました。校舎内を巡りながら、自然と英語に触れようとする生徒の姿が多く見られ、英語科としても嬉しい成果となりました。参加した生徒からは次のような声が寄せられました。

- いろんな場所を巡りながら英語が学べてよかったです。このクイズを新一年生が入って来たときにしたらいいと思う。またやってほしい。（1B ○○くん）
- 写真を見ながらいろいろな教室を巡って、この英語がどんな意味か、どんなスペルかを考えたりと、授業外でも英語に触れることができた。（1B ○○くん）
- 学校内の教室が英語で表記されていたのはこのためなのかと思った。今までではユニバーサルデザインの一つだと思っていた。取り組んでみて校内を巡ったので楽しかった。Quiz Rally のおかげで英語に対して興味が出た気がする。このように英語に触れるのもいいと思った。（3B ○○くん）

今後も、生徒が楽しみながら英語に触れられる機会を大切にし、学びにつながる活動を続けていきたいと考えています。



## 青梅学学習発表会について

主幹教諭 ○○○○

本校では、令和5年度より「特色ある教育活動」として、青梅市の将来を担う人材となるための土台である郷土愛を育てる取組として、総合的な学習の時間に3年間計画で「ふるさと青梅」に取り組んでいます。今年度、3学年が「西中青梅学」3年計画を修了する初めての年となるため、学年ごとのねらいや取組内容を「青梅を発信」するという観点から、地域・保護者・教育委員会・プレスを招いての発表会を企画しました。各学年から代表グループを選び、プレゼンテーション形式で発表を行いました。



1学年は、青梅市内の自然・歴史・伝統・文化について事前に下調べをし、実際に見学、体験、取材した内容を分かりやすく、丁寧に発表しました。途中にクイズを入れるなど、観衆を楽しませる演出もありました。

2学年では、3日間の職場体験を通して、働く意義ややり甲斐、厳しさを学び、感じたこと、青梅で働くことについて発表しました。地域の食文化を支える小澤酒造さんやカネクさん、紅梅園さん、古い歴史を持つ御岳山の武蔵御嶽神社、さらには、その品質が世界に認められているホットマンさん、私たちの生活を支える地域のスーパーとコンビニエンスストア、保育園、美容室など様々な職場を体験させていただきました。

3学年では、1学年、2学年で学んだことを正しく発信する「発表の仕方」について、修学旅行で訪れた古都「奈良・京都」について事前学習し、実際に訪れた奈良県や京都府の歴史や文化に触るとともに、IT技術を取り入れた観光ガイドや外国観光客向けの取組を客観的な視点から知ることが

でき、改めて私たちの暮らす青梅市の魅力や

課題を発表しました。今年の発表の仕方は、これまでの模造紙等にまとめたり、掲示新聞にしたりするのではなく、古都と青梅の観光ガイドのパンフレット冊子にまとめました。地域の文化祭等に掲示させていただきました。今後、市役所や市民センターにも掲示していただけたらと考えています。

ご参観くださいました皆様、ありがとうございました。



## 中学生農業体験（柚子収穫ボランティア）

副校長 加藤 誠

12月13日（土）、生徒17名と柚子もぎボランティアに行ってきました。JA西東京二俣尾支店さんの呼び掛けで毎年実施されています。「『沢井の柚子』は江戸時代、将軍に献上されていた。現在は青梅市の特産品の指定を受けています。」というお話を聞き、生徒たちはその歴史と伝統に目を輝かせていました。そして、沢井の柚子は「とても香りがいい。」とのお話に、実際に柚子もぎをしながら、柑橘系のさわやかな香りを楽しんでいました。高枝切りばさみの使用は難しく、慣れるのに時間がかかりましたが、約2時間の作業で、多い生徒は200個以上も収穫していました。好天にも恵まれ、仲間とJAの皆さんと笑顔で作業する姿がありました。収穫した柚子を青梅市特別養護老人ホーム3施設の代表の方に手渡し、とても感謝していました。地域を学び、地域貢献できた貴重な機会でした。



## 小6生西中訪問

教諭 ○○○○

12月16日（火）に、第五小学校と第六小学校の六年生が本校を訪問しました。当日は、授業見学や生徒会による学校紹介のプレゼンテーションを行いました。

授業見学では、本校生徒が先輩としての自覚をもち、落ち着いた態度で授業に取り組む姿を見ることができました。中学校での学習の様子を、態度や雰囲気を通してしっかりと伝える機会となりました。また、生徒会によるプレゼンテーションでは、本校の行事や委員会活動について説明を行いました。六年生たちは、はじめは緊張した様子も見られましたが、途中で行ったクイズでは次第に打ち解け、会場には和やかな雰囲気が広がりました。説明の後には、六年生から生徒会に向けて多くの質問が寄せられ、来年度の入学を楽しみにしている様子がうかがえました。

今回の訪問は、本校生徒にとっても、学校の代表として行動する貴重な経験となりました。来年度、新入生を温かく迎えられるよう、今後も生徒会活動や日々の学校生活を大切にしてまいります。



## 冬季休業中の相談窓口

いじめなどの子どもの悩みの相談は、学校または下記の相談機関にご連絡ください。

【青梅市教育相談所】0428-23-2200

※月～金曜日（午前9時～午後5時）祝日は除く

【青梅市子ども家庭支援センター】0428-24-2126

※月～金曜日（午前8時30分～午後5時）土・日・祝日は除く

## 部活動の成果

### 陸上部

第52回全日本中学校陸上競技選手権大会女子四種競技で9位入賞した3年A組の○○○○さんが、10月28日、大勢侍利明青梅市長を表敬訪問しました。

### その他

12月6日（土） 第21回青梅市小中学生主張大会

約800の市内中学生の応募作品から、本校生徒4名が最終発表10名の中に選出され、当日は審査員および観客を前に堂々と発表していました。

1年B組 ○○○○ 「地域の防災について」（審査員特別賞）

3年B組 ○○○○ 「青梅の人口減少や少子高齢化について」（審査員特別賞）

3年A組 ○○○○ 「青梅のヤマメを守るために」（青梅市教育委員会賞）

3年A組 ○○○○ 「ふるさと『青梅』」（青梅市長賞）

## 12月の目標

環境美化につとめよう

青梅市立西中学校

〒198-0063 青梅市梅郷6-1460-1

【TEL】0428-76-0114 【FAX】0428-76-2394

平日 7:45～16:45

冬季休業中 8:30～17:00

※上記以外、留守番電話対応

【HP】<https://www.city.ome.tokyo.jp/school/nishi-j/>